

高松市教育委員会
保健体育課長 殿

学校名 高松市立香西小学校
校長名 大石 桂司

公印
省略

令和2年度 高松市防災教育講師派遣事業報告書

次のとおり、標記事業を実施したので、報告します。

学 校 の 名 称	高松市立香西小学校
派 遣 内 容	防災教育に関する出前授業
日 時	令和3年1月27日(水) 9:30 ~ 10:15
場 所	高松市立香西小学校 体育館
対 象 者 数 参 加 人 数	児童数 94名 クラス数 3クラス 教職員 3名 その他 0名
内 容 ・ 日 程 等	① 地震・津波発生の仕組み ② 災害時の避難準備(災害救助袋に必要な物) ③ 災害時の緊急連絡先や避難ルートの確認
取 組 に お け る 成 果	○ 地震や津波発生の仕組みを、図で説明していただいたり、クイズを出していただいたりして、児童の興味・関心を高まった。 

<添付資料 写真 防災1:クイズ>

取組における成果

- 実際の生活場面で、様々な時間帯や場所を想定した避難方法をシミュレーションすることにより、児童が具体的にどう動くのかイメージできた。また、児童の予想した考えを発表することで多様な考え方や気づきが生まれた。




<添付資料 写真 防災2：帰り道に地震が発生したら>

- 災害時に避難所へ避難したとき、最も重要な問題である汚物の処理について、児童は考えていなかった。しかし、尿を固めゴミとして出せるようになることが分かり、避難所での生活の苦しさや不便さを学ぶことができた。



- ・ペットボトルの水が固まったことに驚いている児童
- <添付資料 写真 防災3：尿が固まる！>

<p>取組における成果</p>	<p>○ 地震や津波が発生し電話が不通になった時、日頃の連絡先や集合場所の設定や確認方法の重要性を学んだ。また、配付資料をもとに「早速家族会議を開き、災害に備えたい」という意欲が高まった。</p>  <p><添付資料 写真 防災4：資料をもとに避難確認></p>
<p>今後の課題</p>	<p>今回は6年生を対象に出前授業をお願いした。6年生に設定した理由は、小学校段階で身に付けておきたい災害に対する基礎知識の定着が主な理由である。今後は、今回の知識を生かし、地域の中で共助の中核を担えるよう実践力を身に付けさせたいと思う。</p> <p>また、防災教育は学校だけが行うものではなく、家族・地域が一体となって取り組むべき内容である。今回は、保護者の授業参観が叶わなかったが、今後は保護者・地域も巻き込んだ出前授業となるよう働きかけたい。</p>



ワークシート

じゆぎょう

ぼうさい授業

じしん つなみへん
～地震・津波編～

今日学んだこと

いざ地震が起きたときに何をすればいいか、すぐに分かるようになるために、日ごろから防災への意識を高めようと思いました。いなん場所もきちんと覚えて、身近にある危険場所をハザードマップなどで察知しておこうと思いました。災害伝言ダイヤルの使い方も覚えておくことが大切なことが分かりました。

今日学んだこと

地震はとてもおそろしいもので、自分や家族で協力して地震に備えたい。

今日学んだこと

- ・つなみは陸にいるより、海にいる方がスピードがはやい。
- ・つよいつなみは、家をおし流すくらい強い力がある。
- ・道路などにいるときは、まず頭を守って上げる。
- ・わたしは、防災グッズを用意したいと思いました。

今日学んだこと

私は防災グッズの用意するものをたくさん学んだのでたくさん用意します。

頭を守るのが大切なので登下校はラントセルなどで頭を守ることが分かりました。
かんいトイレのしくみがよく分かりました。

今日学んだこと

・津波の仕組みがよくわかったしりくより海のほうかへながれがはやくいということがわかった。

・津波がおわってから波がとてむ僅んでいくことがわかった
日本～8時間～17時間
～21時間～南アメリカ



とうきょうかいじょうにちどうかさいほけん
東京海上日動火災保険(株)

とうきょうかいじょうにちどう
東京海上日動リスクコンサルティング(株)

